

目指すべき市民像(キーワード):

世代を超えた人づくり

1. 地域への愛着心の醸成

- (1) 「伊豆っ子宣言(仮称)」を策定し人づくりの行動目標を明確にする
 - ・伊豆の子ども達が共有できる「子ども憲章・憲法」を策定し、伊豆に住む人としての意識を醸成する
 - ・伊豆の人としての誇り、プライド、持続可能な力といった内容を盛り込む
 - ・「学校教育目標」などの現有資料を活用して効率的に作成する
 - <伊豆の誇り・高校生意見の例> 都会にはない人のあたたかさ、地域の人との関わり、挨拶、和太鼓などの地域行事や伝統
 - <参考例> 「会津っ子宣言」、長野県上田市の真田藩の掟 など
 - <県内他市の動き> 磐田市：合併10周年を契機に「磐田市こども憲章」制定を開始
- (2) 「市民憲章」を策定して、目標とする市民像を共有する
- (3) 地域の伝統行事や文化を通じた人づくりの推進
 - ・祭りや伝統芸能(天城連峰太鼓等)を通じた人づくりと世代を超えたコミュニケーションを促進する
 - ・伊豆に関連する文学や映画等の文化芸術に触れる機会を増やす
 - ・大人達が生き生きとした姿を見せながら、地域での触れ合いの機会を増やす

2. 教育の充実化方策の検討と推進

- ・PBL(Problem Based Learning) 「問題解決型学習」による学習を市内小中学校で実施する
 - 伊豆市の現状を理解するために市内の問題をPBLのテーマに取り上げる
 - <参考例> 伊豆総合高校のPBL学習
- ・伊豆の風土にあった家庭教育の推進
- ・学校教育における縦横連携の促進
- ・幼稚園教育5領域の伊豆市版の検討

3. その他 紹介された特徴ある活動の事例

- (1) 通学合宿(土肥、長期合宿で地域力を活かした好例)
- (2) 地域とともにある学校づくり「コミュニティー・スクール」の創設
- (3) 高校生を対象とした寮の設置の検討(伊豆の高校生としてのアイデンティティを醸成する拠点)
 - ・特定の学校のためではなく、そこから通学できる高校に通う生徒を対象とした寮を設置する
 - ・市内に限らず伊豆半島全域から高校生を集めて各学校に通学する方式等を検討する
 - ・既存の建築物を有効活用するなどして、修善寺駅近隣に立地する
- (4) 近隣市町から中学生を集めた少年野球クラブチーム(スポーツと勉強の両立)
- (5) 高等学校施設を活用したレスリング教室
- (6) 総合学習を利用した地域教育と市内小学校合同の陸上記録会(小学校)
- (7) 幼稚園と保育園での合同運動会や交流海岸遊び
- (8) 地域の人とのふれあい保育(土肥)
- (9) 教育特区として特色を出し、全国から児童を集める。

子育て世代が住みやすい基盤づくりと人材活用

1. 子育てを応援する活動の推進と魅力ある場づくり

- ・母親が情報交換できる場を設定し、母親同士の交流を支援する
- ・保健師パワーを活用した包括的かつ専門的な子育て支援サービスを展開する
- ・子育てに関連する母親らの活動に対する支援策を充実させる
- ・NPOなど民間の子育て活動に対する行政の後援システムを拡充し、情報発信を強化する
- ・一対一の利用者にやさしい育児指導のよさを積極的にアピールする
- ・きめ細かく対応できる伊豆市の子育てに関する情報発信を進める
- ・「子育て便利帳(仮称)」など子育て関連の情報発信の拡充を図る
- ・静岡県「ふじさんっこ応援隊」の伊豆市版を創設するなど地域に密着した支援を進める
- ・療養保育を無料化を検討する
- ・父親の積極的な子育て参加ができる環境の整備を進める

2. 伊豆市ならではの多角的な取り組みの推進

- <地元の木を使った木育(もくいく)の推進>
 - ・「ウッドスタート市町村宣言」等を通じた木育を展開する
 - ・地元産木材の地産地消(6次産業)と組み合わせた基盤づくり、人づくりを推進する
- <移住受入の支援促進策の整備>
 - ・子どものために伊豆市に編入移住を支援する方策を拡充する
 - ・移住受入体制を整備、強化する方策を検討する

3. 市民参加の促進と効果的な情報発信

- ・若者の発言機会を確保し、意見を取り入れるオープンな意見集約手法を開発、構築する
- ・若者や子育て世代など発言の機会が限られる市民を対象に実際に運用する
- ・市全体の広報活動について、機能別に再構築を進めて情報発信の効力を高める
- ・「広報いず」や市のホームページからの情報発信について読ませる工夫をする具体的な改善を進める
- ・FMISを活用した行政情報の提供を進め、信頼性の高い身近な情報源としての地位を確立する
- ・学生を介した市のプロモーションを検討する